

放置竹林問題解決のための 大学地域連携活動の可能性

—大学生が結ぶ地域の輪—

帝京大学 乗川ゼミ

令和8(2026)年度 大学地域連携活動支援事業中間報告会
2026年10月15日
栃木県庁

1 活動の概要と連携団体

2 活動の進捗状況

3 今後の課題と予定

1 活動の概要と連携団体

テーマ：「地域活動への第一歩を踏み出そう」

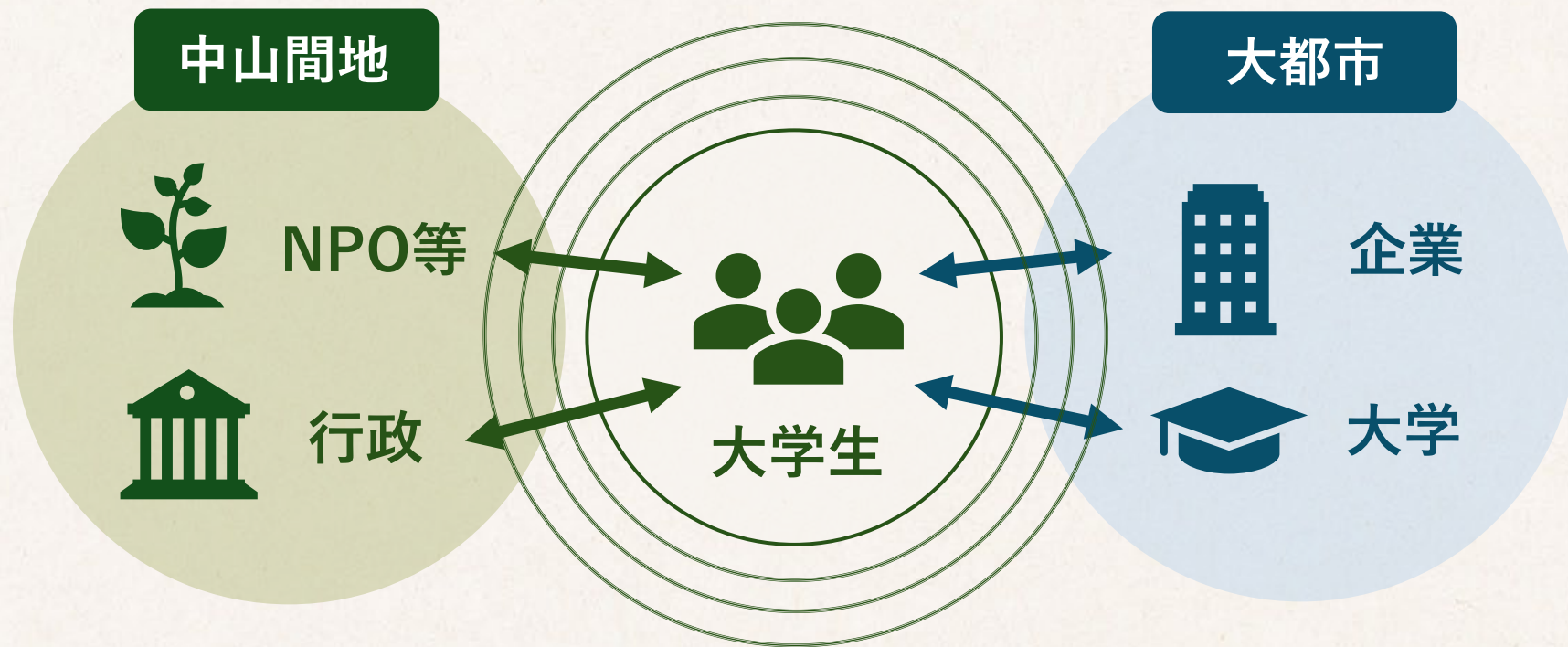
- 地域活動(ボランティア、ソーシャルビジネス)の経験のない大学生が、県内NPOの活動への参加を通じて、地域が抱える様々な問題(少子高齢化・環境保全・コミュニケーションetc)を理解し、その具体的な解決策を考え、提案する

ゼミにおける地域活動の位置付け

- ①地域活動を「サードプレイス」として位置付ける
- ②自らを「関係人口」と位置付けて地域活動を行う
- ③地域活動を「パラレルキャリア」の一つと位置付ける

➡ ここ数年間「**放置竹林問題**」に取り組む

活動名 「放置竹林問題解決のための大学地域連携活動の可能性：
大学生が結ぶ地域の輪」



大学生が中山間地(茂木町)と大都市(宇都宮市)の間を移動し、それぞれに所在する連携団体とともに放置竹林問題に関わる活動をすることで各地域を結ぶ「輪」としての役割を果たす

2026年度の活動内容

- ① 地域団体による放置竹林整備活動への協力
- ② 文献研究および地域団体への取材に基づく放置竹林問題啓発のためのプレゼンテーション資料の準備
- ③ 放置竹林で伐採した竹林を用いた物品の制作技術の習得
- ④ 放置竹林問題啓発のためのワークショップの開催
- ⑤ 竹ランタン点灯イベントの開催
- ⑥ 成果報告の実施

連携団体と連携内容

- ・ たけのわ町田本郷（茂木町）

- 学生への技術指導、竹林の管理活用

- ・ NPO法人トチギ環境未来基地（益子町）

- 学生への技術指導、活動のコーディネート

- ・ 道の駅うつのみやろまんちっく村（宇都宮市）

- 学生への技術指導、イベント会場の提供

- ・ 茂木町農林課（茂木町）

- 活動の後方支援

2 活動の進捗状況

放置竹林問題

放置竹林

- ・ かつては竹材利用やたけのこ栽培のため管理されていたが
現在は管理されていない竹林
- ・ 1ha当たり1万本以上の竹が密生した状態



管理竹林 (2,000~6,000本/ha)



放置竹林 (10,000本以上/ha)

出典：林野庁HP

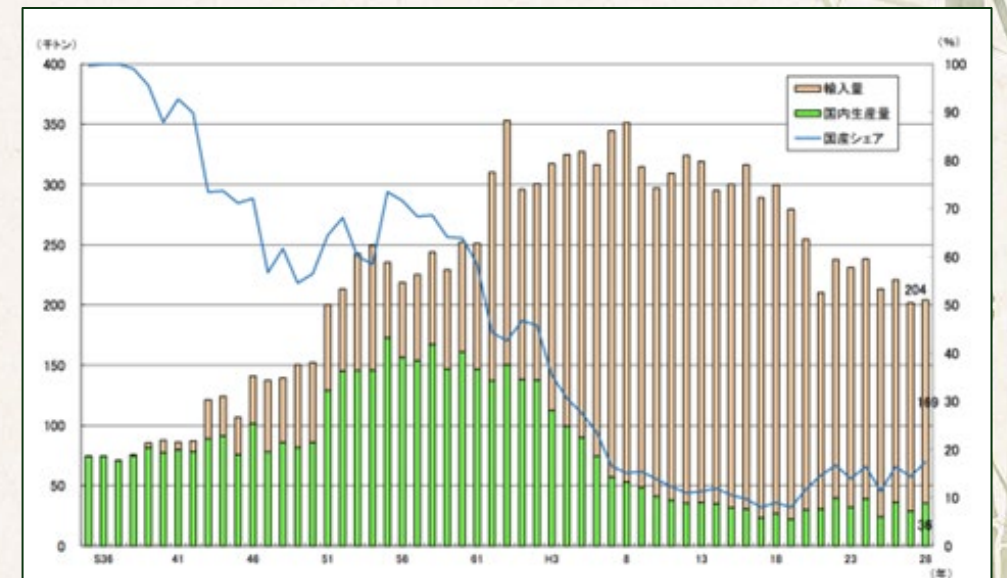
2-1

放置竹林が生じる理由

- ① 生態的要因：竹特有の強い成長力と繁殖力
- ② 経済的要因：プラスチックとの代替、輸入たけのこ増などによる経済的価値の減少
- ③ 社会的要因：周辺地域の少子高齢化・過疎化による人員不足



竹からプラスチックへ



タケノコの生産量と輸入量の推移

出典：「竹の利活用推進に向けて」林野庁、2018年、P.5

放置竹林がもたらす悪影響

①生態系への影響

- ・繁殖しすぎて他の生物の生育を妨げる

②周辺環境への影響

- ・浅い地下に根を張るため、土壌が弱体化し、土砂災害の原因となる

③地域社会への影響

- ・管理されないため景観の悪化にもつながる
- ・少人数で伐採に追われ、竹材の利用法もないため住民の問題解決意欲が減退する

茂木町の状況

- ・ 面積：172.69km²
- ・ 人口：10,858人 ※2026年現在(茂木町HP)
- ・ 人口密度：62.9人/km² (比較：宇都宮市 1226.2人)
- ・ 人口増減率：-11.5% (減少率県内第3位)
- ・ 高齢者(65歳以上)の割合：47.6% (県内第1位)
- ・ 生産人口(15~64歳)の割合：45.6% (県内ワースト1位)
- ・ 子供人口(15歳以下)の割合：6.8% (県内ワースト2位)

出典：「令和7年国勢調査人口等基本集計結果(各定数) 栃木県の概要」



- ・ 栃木県内で最も少子高齢化・過疎化が進んだ地域の一つ
- ・ 竹林整備に従事する定住人口の不足

➡「社会的要因」による放置竹林の拡大・竹害の深刻化

活動内容の詳細

- ① 地域団体による放置竹林整備活動への協力
- ② 文献研究および地域団体への取材に基づく放置竹林問題啓発のためのプレゼンテーション資料の準備
- ③ 放置竹林で伐採した竹林を用いた物品の制作技術の習得
- ④ 放置竹林問題啓発のためのワークショップの開催

以下予定

- ⑤ 竹ランタン点灯イベントの開催
- ⑥ 成果報告の実施

①地域団体における放置竹林整備活動への協力

(1) トチギ環境未来基地・たけのわ町田本郷による 竹林整備活動への協力（5月30日）

- ・ 活動場所：茂木町 町田本郷地区 たけのわ竹林
- ・ 作業内容：竹の間伐、焼却
- ・ 参加者：乗川ゼミ生30名（2年生15名＋1年生15名）

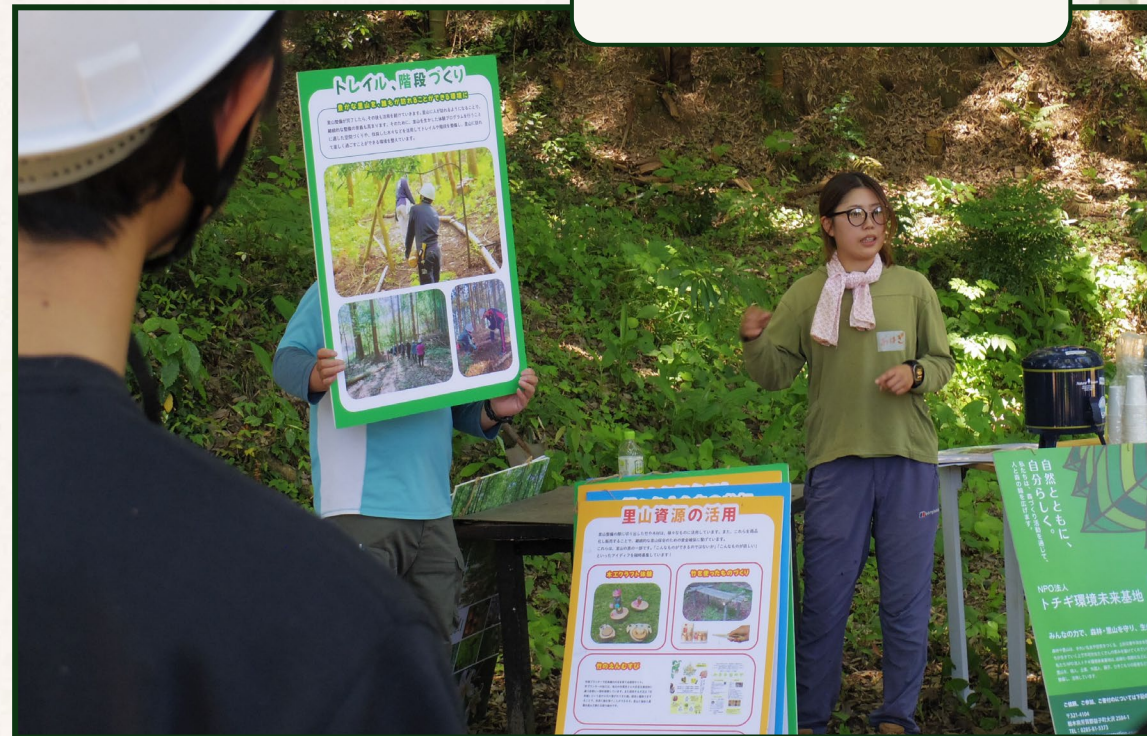
参加してわかったこと

- ①現場までのアクセスが困難
- ②伐採には多大な労力と技術が必要
- ③若者の協力が必要

宇都宮駅から貸切バスで茂木へ→現場まで歩く



活動の様子



竹の伐採

運搬作業

休憩時間に竹馬体験

未来基地スタッフによるレクチャー

②文献研究、地域団体への取材

1. 竹林整備活動参加後の授業(6月)において、竹の生態、利用方法等について調べ、スライド資料を作成

→高校生対象の学内イベントにて発表

「進路選択と探求学習に関するインターンシップ」(7月8日・帝京大学)

2. 放置竹林問題をわかりやすく説明するためのシートを作成

→ワークショップ等で利用

※地域団体への取材・インタビューは未実施

1. ゼミ生作成の スライド(抜粋)

放置竹林の現状と「竹害」

なぜかつて美しかった竹が地域を脅かす脅威になってしまったのか

01 放置竹林がもたらす「竹害」

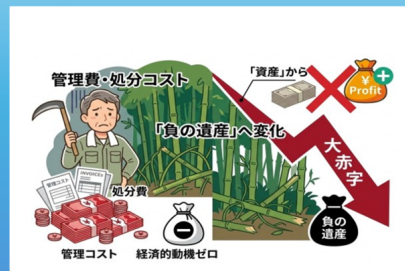
【経済的原因】 需要の減少と輸入品の流入

1. プラスチック製品への完全代替

かつて日用品や建材、農業用資材として幅広く使用されていた国産竹製品は、安価で扱いやすいプラスチックなどの軽素材へと変わっていった。

2. 「整備するだけで大赤字」の構造

竹林が利益を生み出す「資産」から、管理費・処分コストだけが累積する「負の遺産」へと変化してしまい、自主的に管理する経済的動機がゼロになった。



○放置竹林問題の解決には

現在広がっている放置竹林を**整備**する

加えて

竹林・竹材に**新たな価値**を生み出すことで
人が**継続的に関わる**ことのできる竹林へと
再生していく

竹材の新たな利用法

従来の竹利用:カゴ、竹炭、竹酢液など

近年の竹利用:マテリアルとしての活用が期待

(1) パルプ

竹材は、製紙原料としての利用は定着していなかったが、近年、需要量を伸ばしている事例も出てきている。

(2) バイオマス燃料

竹を燃やすと灰が溶解し、それが固まって炉内に「クリンカ」という塊を生成する特性がある。塩素濃度も高いため耐火物や伝熱管を腐食させやすい燃焼炉が傷つく。



2. ワークショップ参加者に放置竹林問題について説明するためのシート

帝京大学経済学部地域経済学科 乗川ゼミ

2026

放置竹林問題について

❖ 放置竹林とは

持ち主によって、計画的に管理せれず、竹が自然に伸び放題になっている竹林のことである。竹は一日に1m伸びるほど成長が早く、放置すると年間で数十mも地下茎が広がり、周囲にさまざまな影響を与える。



⚠ 放置竹林が起こる原因

①生態的要因

在来種を駆逐する繁殖力



②社会的要因

人手不足と管理の限界



③經濟的要因

需要の減少と輸入品の流入



④ 放置竹林を解決する方法

①生態的要因の解決策

適切に伐採して、広がりを防ぐ



②社会的要因の解決策

人口を増やし、竹林を楽しむ
場にする   



③経済的要因の解決策

竹を資源化・商品化して価値を生み出す



私たちにできること

知ること

竹害を自分事と捉えて
考え、現状を共有する。

食べるこ

国産のタケノコやメンマを消費し、竹林農家を支援する。

参加すること

地域の竹林整備体験などに積極的に足を運ぶ。

買うこと

竹製品（割りばしなど）を積極的に使い、需要を増やす。

乗川ゼミでは茂木の放置竹林で伐採した竹材を購入し、竹ランタン制作ワークショップを学内外で開催することで、放置竹林問題の啓発に努めています。



③竹材物品の制作技術の習得

竹ランタン（竹灯籠）

制作方法

- ①のこぎりで竹材を切断し、ハンマーとナタでスリット[※]を入れる
- ②養生テープで竹に型紙を張り付ける
- ③ドリルで穴をあける

ゼミ生：作り方を覚えるだけでなく、教えられるように練習（6月～）

→茂木の放置竹林で伐採した竹材を使用

→型紙も自作（著作権に配慮）：パソコンまたはゴム印を使用

※ 2025年度は持ち帰りを希望する人が多かったため
今年度は経年によるひび割れを防ぐ作り方に変更

竹ランタンの作り方

2026

帝京大学経済学部地域経済学科 乗川ゼミ

① 竹にスリットを入れる

・ハンマーとナタを使う。
幅は約2cm。

POINT

乾燥による割れを防ぐ
ためのスリットです！



② 竹に型紙を貼る

・好きな型紙を選んで、
竹にテープで貼り付け

POINT

型紙全体を覆うよう
にテープで留める！

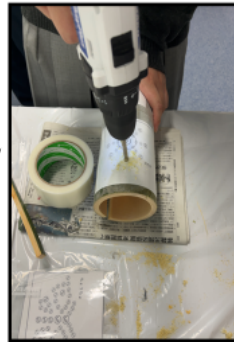


③ ドリルで穴をあける

・竹をしっかり押さえて、
ドリルで穴をあける。

POINT

巻き込み事故防止のため、
手袋禁止！



④ 完成

・型紙をはがし、削りカスを
掃除して完成。

POINT

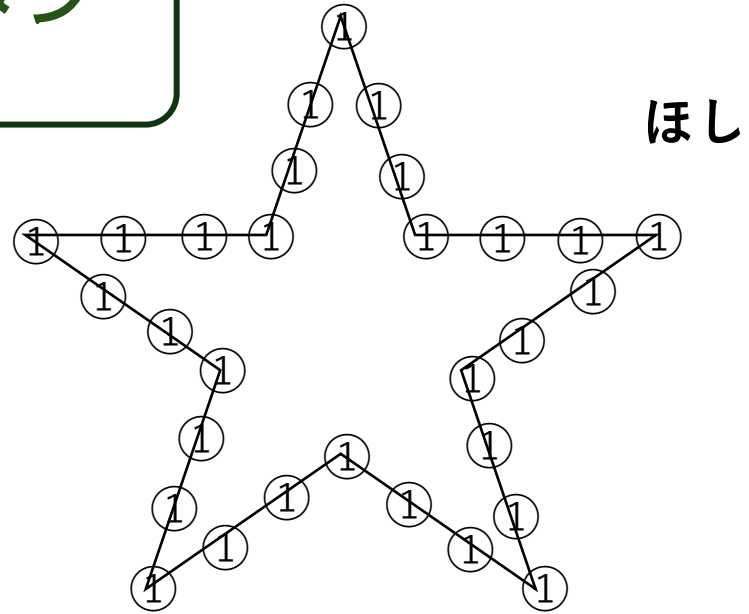
LEDキャンドルを入
れて光らせてね！



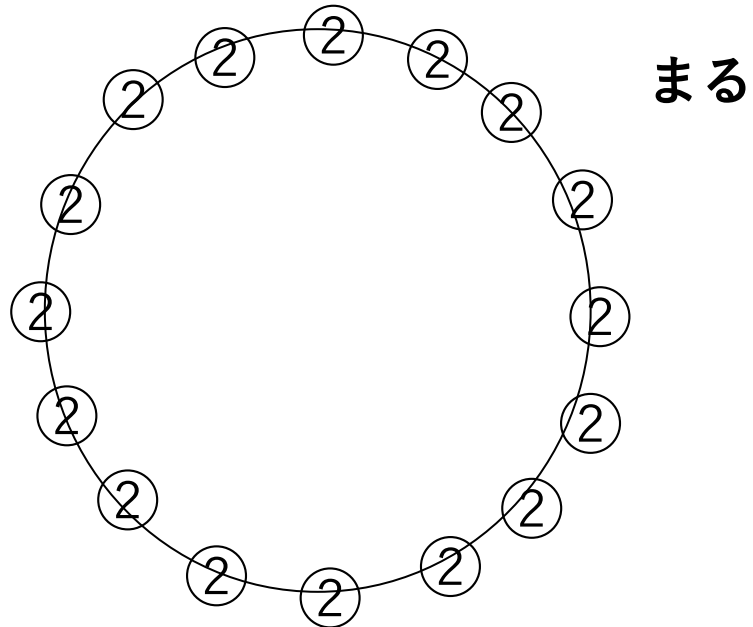
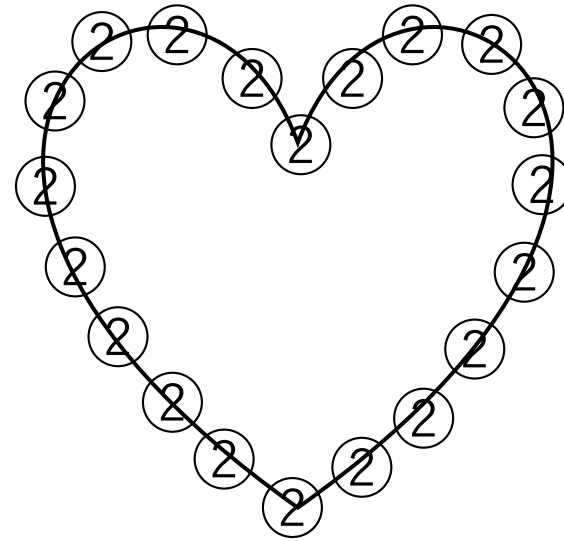
竹ランタン
完成品



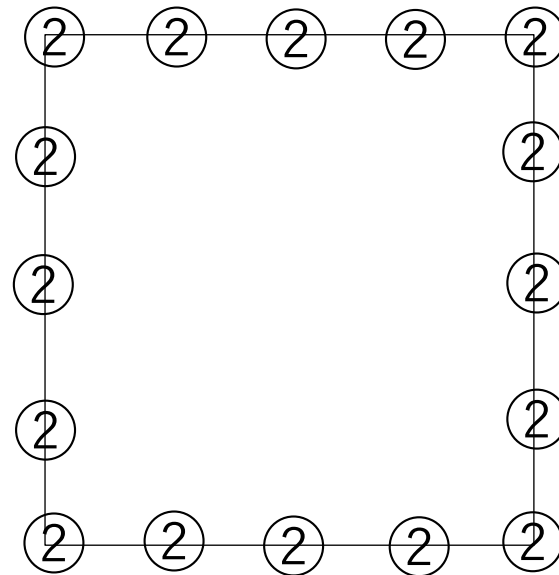
竹ランタン 型紙



ハート

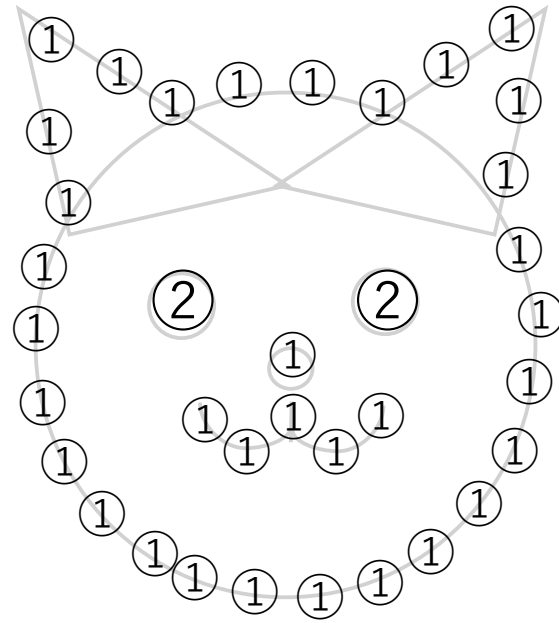


しかく

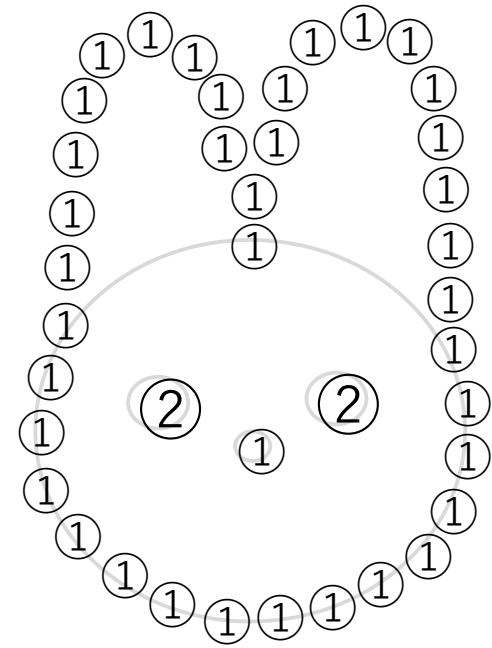


竹ランタン 型紙

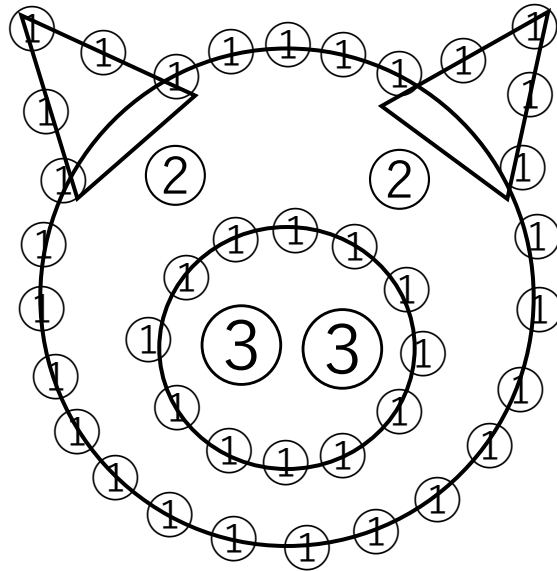
ネコ



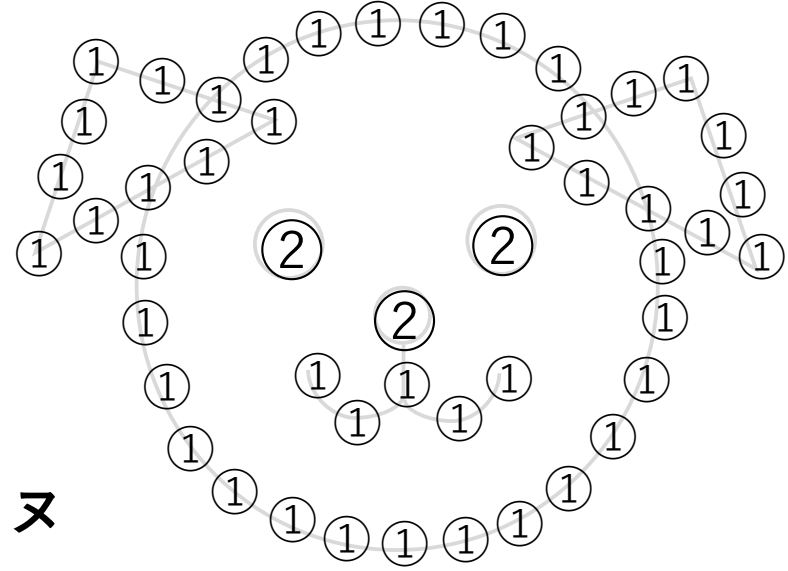
ウサギ



ブタ



イヌ



④ワークショップの開催

目的

- ① 放置竹理の問題の啓発
- ② 茂木町の放置竹林で伐採した竹材の利用
- ③ モノづくりと会話を通じたコミュニケーション機会
(=楽しい空間) の提供

日程

- ① 「進路選択と探求学習に関するインターンシップ」(学内イベント 7月8日)
- ② 帝京大学オープンキャンパス(学内イベント 6月7日、7月19日、8月22日)
- ③ 「エンジョイカガク」(学内イベント 8月22日)

以下予定

- ④ 帝京大学学園祭 (学内イベント 10月31日～11月1日)
- ⑤ 道の駅ろまんちっく村 (学外イベント 日程未定)

④ワークショップの開催

①「進路選択と探究学習に関するインターンシップ」(7月8日)

- ・実施場所：帝京大学 宇都宮キャンパス
 - ・受講者：県内の高校生（20名）
→ゼミ生15名で対応
 - ・タイトル：
「竹クラフト体験を通じて考える地域課題」
 - ・内容：ゼミ生による発表＋ワークショップ
- 放置竹林問題に関するプレゼン、
ディスカッション、竹ランタン制作・展示



進路選択と探究学習に関する インターンシップ

TODAY'S PROGRAM
2026.7.8

当日持参物

- ・筆記用具
- ・ノート [ワークシート]
- ・昼食 ・飲み物
- ・携帯電話、スマートフォン
- ・高校で指示されたもの

マイページ



※マイページから自分の設定した
講座の確認ができます。

ゼミ生によるプレゼン



ディスカッション



竹ランタン制作



展示



当日の様子

④ワークショップの開催

② 帝京大学オープンキャンパス（3回）

- ・ 開催日：6月7日、7月19日、8月22日
- ・ 参加人数：各回とも20名程度
（受験生及び保護者）
- ・ 内容：ゼミ生によるゼミ活動の説明、
竹ランタン制作・展示



当日の様子



④ワークショップの開催

①「エンジョイカガク」(子ども向け科学イベント)

- ・開催日：8月22日(土)
- ・実施場所：帝京大学 宇都宮キャンパス
- ・参加者：10名(同伴者除く)
：小学生以下の児童(未就学児含む)
→保護者同伴
- ・内容：子ども向けのプログラムを準備し、対応
(保護者との協力による体験を想定)

竹クイズ、竹楽器の演奏
竹ランタンの制作・展示

理工・医療系進学体験イベント

カガクの魅力を体験しよう!

エンジョイカガク!!
ENJOYKAGAKU

2026 **8/22** 土

13:00~16:00
×学生食堂の営業はありません
(コンビニ営業時間 11:00~16:00)

対象 小学生・中学生・高校生・一般

主な体験イベント

- 水ロケットを作って飛ばそう
- 3DCGをつくってみよう
- 花の色を取り出そう
- お医者さんになって診察してみよう

事前予約制(先着順)

8/5 (水) 9:00 受付スタート

帝京大学 宇都宮キャンパス

宇都宮キャンパス 〒320-8551 栃木県宇都宮市東郷町1-1 TEL: 028-627-7111 Email: ts-u-prwg-md@teikyo-u.ac.jp

アクセス

JR宇都宮駅 開業バスで20分
お口の南乗り場
新緑台・南大行、ニュー富士見行、宇都宮美術館行乗車
「南大行」下車

巨大ギロ



クロンプット（を模したもの）



巨大スリットドラム



※クロンプット
→ベトナムの民族楽器
→穴の前で手を叩き、
風圧で音を出す

竹クイズ



竹楽器演奏



竹ランタン制作



展示



当日の様子

竹はどの
仲間でしょう?

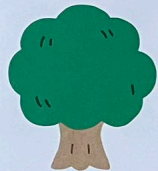
A. 花



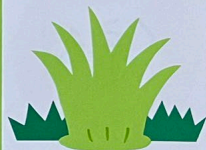
B. キノコ



C. 木

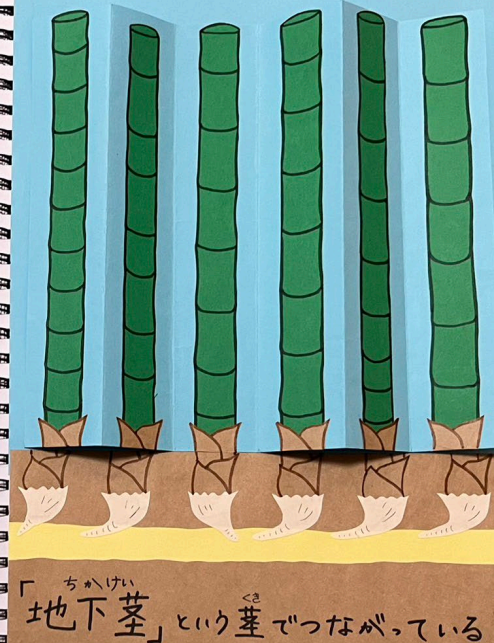


D. 草



竹を切らずに
放っておくと
どうなるでしょう?

- A. いつのまにかなくなる
- B. どんどん短くなる
- C. どんどん横に太くなる
- D. どんどん数が増えて広がる



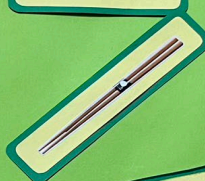
竹で作れる物は
どれでしょう?

A. かご

B. おはし

C. 笛

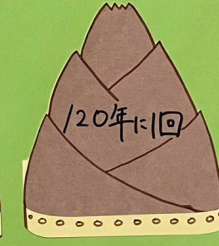
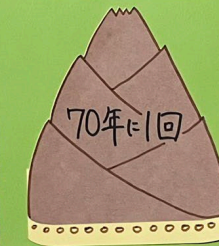
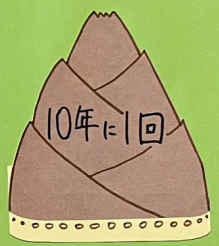
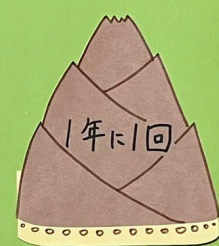
D. 家



竹は花が
咲く?

咲かない?

竹の花は何年に一度
咲くでしょう?



竹クイズで使った
スケッチブックシアター(抜粋)

2-2 ワークショップを経験してわかったこと

① 放置竹林問題の啓発は未だ不十分

- ・ 放置竹林の説明から入ると来場者に敬遠されてしまう
- ・ 制作から入ると放置竹林について説明するタイミングがなくなる(忘れる)

② 来場者に楽しんでもいただくことができた

- ・ 制作作業の過程でゼミ生と来場者の会話(雑談)が弾んだ
- ・ 暗室でのランタン点灯が好評だった
- ・ 子ども向けの竹楽器演奏企画は親子共々喜んでいただけた

③ ゼミ生自身も楽しめた

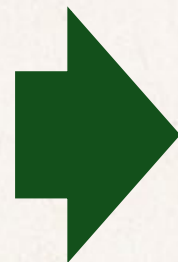
- ・ 自分がやりたいこと(特技など)を実現できていた
- ・ 主体的かつ自律的に行動できていた (教員の評価)

3 今後の課題と予定

今後の課題（改善策）

① 「集客」のための工夫

- ・ 看板・ポスター等の制作・掲示
- ・ 接客態度の改善



立ち寄りたくなる雰囲気
づくりに努める

② 「放置竹林問題」の啓発

- ・ 「堅苦しくない伝え方」
「わかりやすい伝え方」の追求



カードの作成・配布

③ 活動成果の「見える化」

- ・ 来場者へのアンケートを実施



放置竹林問題に関する
新しいニーズの発掘も

今後の予定

① ワークショップ

- ・ 10月31日・11月1日：帝京大学 学園祭
→ 若者 & 近所の子ども向け
- ・ 11月22日：道の駅うつのみやろまんちっく村
→ 親子連れ & 中高年向け

② 成果報告

- ・ 12月5日：現地報告会（茂木町）
- ・ 12月19日：帝京大学経済学部地域経済学科ゼミ合同発表会

ご清聴
ありがとうございました